２０２６年１０月２１日
関 越 交 通 株 式 会 社

路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の申請について

関越交通株式会社(本社：群馬県渋川市、取締役社長：佐藤俊也)では、２０２６年１０月２１日に国土交通省関東運輸局へ乗合バス運賃の上限認可申請を行いました。

申請理由及び申請概要等は次のとおりです。

ご利用のお客様にはご負担をおかけいたしますが、事情ご賢察のうえご理解を賜りますようお願い申し上げます。

１．申請理由

当社の乗合事業は２００４年度以降、人口の減少及び少子化による学生の利用者減少並びに燃料価格高騰等の影響により、慢性的な営業損失を計上しておりました。

また、依然と続く少子高齢化や人口減少、コロナ禍以降の移動需要の低迷のほか、深刻化する運転手不足に対応するための人件費および安全確保にむけた定期的な車両代替や環境対策に係る経費等が増加していたため、２０２３年１０月１日に群馬県全域において運賃改定を実施いたしました。

運賃改定以降、増収分を原資として、運転手の処遇改善を実施し、採用数の確保に努めてまいりましたが、未だ要員不足の解消までには至らず、人材の確保が必要であると考えております。

他方、人件費の増加に加え、物価高騰による燃料費や修繕費等の増加、また、安全対策や定期的な車両代替等もコストの増加傾向にあり、事業経営を大きく圧迫してきております。

このような状況の中、多くのお客様にはご負担をおかけいたしますが、今後も公共交通事業者として 「安全・安心」を確保するとともに、経営の効率化をさらに推し進めるほか、ご利用いただきやすいサービスの提供に努め、安定的にバス事業を継続していくために、上限運賃の変更を申請いたしました。

２．申請概要

（１）申請日　　２０２６年１０月２１日

（２）実施予定日　　２０２７年　４月　１日（認可後決定）

（３）申請対象路線　　当社の全路線
（均一運賃路線・市町村地域公共交通会議対象路線を除く）

（４）上限運賃の平均改定率　　21.2％
（実施運賃に関しては、初乗運賃額（200円）のほか、概ね12％程度のアップを予定しております。（一部路線を除く））

（５）運賃単位　　現金・ＩＣカードとも10円単位です。

（６） 現行・申請運賃比較表

群馬県	現行運賃		実施運賃(予定)※1		申請(上限)運賃※2	
	現　金	ICカード	現　金	ICカード	現　金	ICカード
初乗運賃	180円		200円		250円	
初乗定期券 （通勤1カ月）	割引率35% 7,020円		割引率35% 7,800円		割引率35% 9,750円	
前橋・高崎市内 均一区間定期券 （通勤1カ月）	8,560円		8,560円		8,560円	

※1 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

※2 上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してよいとされる運賃の上限額です。

（７） 主要区間の運賃　　（単位：円）

区　　間	片道運賃 （大人）		定期運賃 （通勤１カ月）	
	現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
前橋駅　～　上小出	280	310	10,920	12,090
前橋駅　～　関根	450	500	17,550	19,500
前橋駅　～　渋川駅	700	780	27,300	30,420
高崎駅　～　三ツ寺	440	490	17,160	19,110
高崎駅　～　金古四ツ角	680	760	26,520	29,640
渋川駅　～　御蔭	400	450	14,420	15,990
沼田駅　～　材木町・神明会館前	230	260	8,580	9,750
後閑駅　～　猿ヶ京	1,100	1,230	32,760	36,660
水上駅　～　宝川入口	1,300	1,460	36,660	40,950

３.輸送人員及び収支状況（均一運賃路線・市町村地域公共交通会議対象路線を除く）

項　　目		輸送人員	収支状況
２０２６年度　申請年度 ※3		2,035千人	△31,851千円
２０２７年度 平年度推計	改定前	2,035千人	△155,876千円
	改定後 ※4	1,901千人	△40,616千円

※3 2026年度の輸送人員、収支状況は推定値です。

※4 2027年度平年度推計(改定後)の輸送人員及び収支状況は、申請上限運賃での推計値です。

４.これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

当社は、群馬県内においてマイカーの普及とともに大手の路線バス事業者の撤退が進む中、これらの路線を継承するため当初は北部地域の路線バス事業に参入し、その後は前橋市内・高崎市内を中心とする市街地まで路線の拡大を図ってまいりました。

群馬県内の北部地区は、生活交通路線としての役割のほか、伊香保温泉・四万温泉・みなかみ温泉・尾瀬国立公園及びその周辺のスキー場等の主要観光地を抱えており、これらの地域へ来訪される観光客の二次交通としての輸送の確保を図っております。

また、２０２０年４月からは群馬県内では初のＩＣ乗車券の導入を行い、訪日外国人を含む観光客や地元住民のサービス向上、利用促進を図っております。

今後も、ＥＭＳ（エコドライブ管理システム）を活用した燃料費削減等に取り組む一方、一部路線で実施している客貨混載事業による収益拡大等の施策に積極的に取り組み事業の継続に努めてまいります。

５.安全対策への取り組み

当社は「輸送の安全」の確保が事業経営の根幹であることを常に認識し、お客様に安心してご利用いただけるよう、今後も継続して安全性の向上に努めてまいります。

具体的には、乗務員に対する安全教育として自社のヒヤリハットのドライブレコーダー映像におけるＫＹＴ教育の実施や勤続年数の節目に応じたキャリアアップ研修及び緊急事態対応訓練など人材の育成と事故防止教育の拡充を図っております。

また、健康に起因する事故防止の取組みでは、全従業員を対象に睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査、脳ＭＲＩ検診の他、心疾患・視野障害の検診も実施しております。

これらの施策は、本部運輸安全マネジメント委員会を中心に、全ての管理者及び営業所長が参加する運輸安全マネジメント連絡会や営業所単位での現場運輸安全マネジメント委員会を開催し、情報共有を図っております。

今後は、更に先進安全自動車（ドライバー異常時対応システム・衝突被害軽減ブレーキシステムなど）を積極的に導入し、さらなる安全対策に努めてまいります。

６.サービス向上への取り組み

当社は、今後も、利用実態に応じたダイヤ改正や関係市町村及び観光協会等との連携を図りながら、列車との適切な接続ダイヤの設定及び企画乗車券の設定他、「ＧｕｎＭａａＳ」（グンマース）等を通じてお客様の利便性向上のための施策に積極的に取り組んでまいります。

このニュースリリースのお問い合わせは、下記までお願いします。
関越交通株式会社　企画部　　℡０２７９－２２－２０２０